

悪あく

今回は、仏教の代表

的な悪の紹介です。

殺生（むやみに生き物

を殺す）、偷盗（人の

ものを盗む）、邪淫（不倫）、妄語

（嘘をつく）、綺語（おべんちやら）、悪口（相手を傷つ

ける言葉）、両舌（人と人との関係を裂く言葉、噂話）、

貪欲（欲深い）、瞋恚（怒りやすい）、愚痴（自分の姿に

気づいていない）

いかがでしょうか。私は悪を犯してばっかりです。

戦後、学生の関田寛雄さん（基督教牧師）が、先生へ

手紙を書きました。「戦中と戦後で先生の言葉が変わった。

先生は今、何を信じて生きていますか。」幾日も返

事が無い。2週間ほどたって、クラス全員の前で、「実

はこのクラスのある人から、斯く斯く然々の手紙を貰った。

けれども、まだ返事を書けないでいる。というのは、

僕自身が今迷っているからだ。これから先どうするか、

私はわからなくなってしまうた」ああ、先生も苦しんで

いるんだと思った関田青年であった。

我がことを差し置いて、悪をするな、

悪を拒絶する…ということではなく、

ともに気づかされ、考えて行く事が宗教の大切な役割の一つでしょう。



こんなとくに 教用語

身近な仏教用語を紹介しています。



地獄の絵本は、人間の恐怖、鬼の狂気が如実に伝わってきます。しかし、そのどちらも人間が具えているからこそ、時代を経ても世代が違ってても地獄絵図はここに植え付けるものがあるのです。

阿鼻叫喚という言葉が、昨年だけでも『韓国経済
阿鼻叫喚』という本が出ていたり「グリーン・インフ
エルノ」という映画の宣伝に使われていました。
阿鼻叫喚とは、八大地獄のうちの阿鼻地獄と叫喚
地獄が合わさった言葉です。最近、地獄の絵本が人気
だそうですが、お寺の地獄絵図を見て、子供ながらに
恐怖を感じた方もおられるのではないのでしょうか。
阿鼻地獄は、地獄の中でも最下層に位置し、別名無間
地獄。間断なく地獄の猛火に焼かれ、あらゆる苦痛を
味わう恐ろしい所です。叫喚地獄は、湯の煮えたぎる
大釜に投げ込まれたり、口の中に溶けた銅を流し込ま
れるという想像しただけでも身震いのする所です。
これらふたつを合わせた熟語が阿鼻叫喚です。

あびきょうかん 阿鼻叫喚

